第２章　魚津市の概要

第２章　魚津市の概要

2.1 魚津市の概要

魚津市は、富山県の東部に位置し、富山市から東へ25km の距離にあり、総面積は 200.63km^2 です。

北東は布施川を境に黒部市と、南西は早月川を隔てて滑川市・上市町と接しています。北西には富山湾が広がり、「蜃気楼・埋没林・ほたるいか」が三大奇観としてよく知られています。

南東部は、最大標高 2,415 m（釜谷山：毛勝三山の一つ）に達する山岳地帯で、北アルプスに連なっています。これらの山々を源として、片貝川、布施川、早月川や角川などの河川が、市内を潤しながら富山湾に注いでいます。市域の約 70%が標高 200m以上の急勾配な山地で占められ、台地から平坦地、海岸へとおだやかな斜面を形成しています。海岸線は比較的平坦で、その延長は約８ｋｍですが、海中では、海底が急傾斜となり深層まで落ち込んでいます。そのため、魚津の港は昔から良港として船の出入りが多く、海底の湧水に育まれ魚の種類も量も豊富で魚津の名のごとく県下屈指の漁場として広く知られています。

（魚津市第４次総合計画「第３章　魚津市の現状と課題」より）

～～～市章～～～

魚津市の「ウ」を主題とした構想で、「ウ」の三方に突き出すのは市勢の飛躍的発展と、本市が世界に誇る三大奇観の蜃気楼・埋没林・ホタルイカを表わしたものであり、さらに友愛・ 誠実・健康の三大美点を象徴させています。波頭は、日本海の良港を表わすとともに「津」の感覚を盛り、波型を円に作図して市民の融和・団結を表示したものです（昭和 32 年制定）

蜃気楼

埋没林

ほたるいか

2.2 魚津市水道事業の概要

魚津市の水道事業は、昭和 27 年４月１日に魚津市が誕生してから始まり、その後は面的整備による水需要の増加に伴い、拡張事業を行ってきました。

H24 年度現在では、上水道１箇所、簡易水道９箇所、飲料水供給施設１箇所の計 11 水道事業で構成しています。

表：水道事業の概要

区　分		単位	魚津市上水道	簡易水道									平沢飲料水供給施設
				日尾	東城	黒沢	島尻	東蔵	小菅沼	鉢	升方	長引野	
創設年度		年度	S26	S30	S30	S31	S32	S32	S33	S41	S47	S48	S48
計画給水人口		人	42,900	102	350	150	520	270	130	105	480	415	80
計画給水量		m^3/日	28,400	36	105	47	141	71	20	35	151	104	39
水源種別		－	深井戸	深井戸	深井戸	深井戸	湧水・深井戸	深井戸	湧水	深井戸	深井戸	深井戸	湧水
水源数		箇所	8	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
浄水方法		－	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ	消毒のみ
配水池	箇所数	箇所	11	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	総容量	m^3	10,929	45	156	74	176	97	39	12	160	117	40
総管路延長		m	323,281	781	3,177	1,572	4,892	2,889	1,798	607	3,690	4,696	3,041

（平成 23 年度　水道事業年報より）

魚津市　図

凡　例
水源（湧水）
水源（深井戸）
浄水場
配水場
ポンプ場
減圧水槽
行政区域
上水道区域
簡易水道区域
飲料水供給施設区域
ＪＲ北陸本線
国道8号線
北陸自動車道
長引野簡易水道
長引野水源地
長引野配水池
黒沢配水池
黒沢水源地
黒沢簡易水道
日尾配水池
日尾水源地
日尾簡易水道
横枕浄水場
中区配水池
横枕第３水源地
横枕第１水源地
低区配水池
魚津市上水道
横枕第２水源地
道坂第３水源地
道坂第２水源地
道坂第４水源地
高区第１配水池
道坂第５水源地
貝田第２水源地
高区第２配水池
高区第３配水池
高区第４配水池
前東城配水池
奥東城配水池
東城水源地
東城簡易水道
島尻水源地No.２
島尻簡易水道
島尻配水池
吉野配水池
稗畠減圧槽
坪野送水ポンプ
坪野配水池
北山配水池
池谷加圧場
鹿熊送水場
升方水源地
升方配水池
鹿熊加圧ポンプ
島尻水源地No.１
平沢配水池
東蔵配水池
東蔵水源地
東蔵簡易水道
平沢飲料水供給施設
小菅沼簡易水道
小菅沼配水池
小菅沼水源地
升方簡易水道
鹿熊配水池
平沢水源地
鉢水源地
鉢簡易水道
鉢配水池

＜現況（目標：H29）＞

魚津市上水道　施設フロー図

計画一日最大給水量 Q＝ 28,400 ㎥/日

計画給水人口　　P＝ 42,900 人

＜ビジョン計画（目標：H33）＞
魚津市上水道　施設フロー図

計画一日最大給水量 Q＝ 25,500 ㎥/日
計画給水人口　　P＝ 38,700 人

＊自動水質監視装置　N＝8箇所

＜簡易水道及び飲料水供給施設＞

＊人口・水量は、H33目標年度までのピーク値を採用

日尾簡易水道

計画一日最大給水量 Q＝8.4 ㎥/日
計画給水人口　　P＝ 24 人

東城簡易水道

計画一日最大給水量 Q=103 ㎥/日
計画給水人口　　P=277 人

黒沢簡易水道

計画一日最大給水量 Q＝ 23 ㎥/日
計画給水人口　　P＝ 74 人

島尻簡易水道

計画一日最大給水量 Q=169 ㎥/日
計画給水人口　　P＝451人

東蔵簡易水道

計画一日最大給水量 Q＝ 48 ㎥/日
計画給水人口　　P=134 人

升方簡易水道

計画一日最大給水量 Q=113 ㎥/日
計画給水人口　　P=344 人
将来上水道統合（吉野配水池から加圧送水）

鉢簡易水道

計画一日最大給水量 Q＝6.5 ㎥/日
計画給水人口　　P＝ 20 人

長引野簡易水道

計画一日最大給水量 Q=109 ㎥/日
計画給水人口　　P=329 人

小菅沼簡易水道

計画一日最大給水量 Q＝3.0 ㎥/日
計画給水人口　　P＝ 8 人

平沢飲料水供給施設

計画一日最大給水量 Q＝ 11 ㎥/日
計画給水人口　　P＝ 28 人

＊自動水質監視装置　N＝10箇所

魚津市水道事業の沿革

P=計画給水人口（人）
Q=計画１日最大給水量（m^3/日）

年月日	事　　項
S27.1.16	魚津市水道事業 ◆創設 P=30,000 人 Q= 6,000m^3/日 日尾簡易水道 ◆創設:S31.3 月　P=200 人 黒沢簡易水道 ◆創設:S31.10 月　P=260 人 島尻簡易水道 ◆創設:S32.11 月　P=900 人 東蔵簡易水道 ◆創設:S32.12 月　P=628 人 小菅沼簡易水道 ◆創設:S33.11 月　P=130 人 鉢簡易水道 ◆創設:S41.11 月　P=130 人
S38.12.23	魚津市上水道(第１次拡張)事業 ◆給水区域の拡張 （青島、天神簡水統合） ◆人口、給水量の増加 P=37,000 人 Q=11,100m^3/日
S46.11.30	魚津市上水道(第２次拡張)事業 ◆給水区域の拡張 （石垣、印田、大海寺） ◆給水量の増加 P=37,000 人 Q=16,000m^3/日 升方簡易水道 ◆創設:S47.12 月　P=480 人 長引野簡易水道 ◆創設:S48.11 月　P=430 人
S56.3.18	魚津市上水道(第３次拡張)事業 ◆給水区域の拡張 （経田、吉野） ◆人口、給水量の増加 P=48,000 人 Q=28,300m^3/日 平沢飲料水供給施設 ◆創設:S48.9 月　P=80 人
S58.4.25	魚津市上水道(第３次拡張)事業(第１回変更) ◆給水区域の拡張 （小川寺簡易水道）
H3.12.27	魚津市上水道(第３次拡張)事業(第２回変更) ◆給水区域の拡張（貝田新） ◆水源の変更(貝田第２水源)
H16.3.26	魚津市上水道(第４次拡張)事業 ◆給水区域の拡張 （松倉簡水） ◆給水量の増加 P=42,900 人 Q=28,400m^3/日 東城簡易水道 ◆創設:H11.3 月　P=350 人